

御前山ビオトープ通信

令和5年6月11日

第63号

発行：御前山ダム環境センター

メール：denen21@ktb.biglobe.ne.jp

ホームページ：<http://www7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/>



目次

1. 御前山ダム湖周辺歩く会
2. 御前山小学校田植え
3. 春のビオトープ育成活動
4. 自然観察会（御前山小学校5年生）

【案内図】



1. 御前山ダム周辺歩く会

令和5年4月8日（土）に9回目となる御前山ダム周辺歩く会が行われました。

県内外から70人近い参加者がありました。

今年は新たに整備された遊歩道を歩く軽登山コースと一般コースに分かれて約6kmの行程を歩きました。

天気には恵まれませんでしたが、見晴らしエリアから見られる景色は、晴れた時とはまた違って霧に覆われて幻想的でした。

参加者からは「遊歩道は階段が整備されていて良いトレッキングコースになった。」「コースが素晴らしい。」と好評でした。秋には市が主催する歩く会があります。



2. 御前山小学校田植え

5月25日（木）御前山小学校5年生の田植えが行われました。当時は天気にも恵まれ、朝早くから地元で受け入れ準備が行われました。

子供たちは9時過ぎにバスで到着し、挨拶、田植えの説明の後に早速田んぼに入って田植え作業が始まります。ほとんどの子供は初体験ですが、地元の皆さんの



の手ほどきを受けて挑戦し、だんだん上手になりました。二時間弱で予定していた面積の植え付けが終了し、記念撮影

途中にはアカハライモリを見つけて、皆が興味津々で群がります。終了後、手足を洗いに入った川でも魚を発見して大騒ぎでした。

秋の稲刈りを楽しみに、元気で帰りのバスに乗り込みました。

3. 春のビオトープ育成活動



5月、茨城県はコロナ対策がステージ1まで引き下げられ、徐々に落ち着いてきました。

マスク着用、3密対策などの自己管理や自主対策を前提として、6月7日(水)本年度第一回目のビオトープ育成活動を実施することになりました。

今回も「NPO 美しい田園21」の呼びかけで、関東各地から50人近いボランティアの皆さんの参加を頂きました。

コロナ対策もあり、参加者が分散して作業できるように、全般的な草刈り、林間の希少種、田んぼの希少種、池の植生管理、漏水修復、田んぼの漏水や用水路取水口補修などそれぞれのグループに別れて作業を開始しました。作業内容は多彩に渡りましたが、天候にも恵まれて順調に進み、午前中に終了しました。

6月8日(木)には自然観察会が予定されており、これで子供達も安心して参加できると思います。作業後は、地元の婦人グループが手作りのタケノコご飯を用意してくれて、休憩しながら美味しくいただきました。

4. 自然観察会(御前山小学校5年生)

令和5年6月8日(木)にビオトープで地元の御前山小学校5年生21名を迎えて自然観察会が行われました。

講師には御前山ダム環境センターの会員で、生物にとっても詳しい栗田耕太郎さんが担当してくれました。

当日は5人ずつの班に分かれてそれぞれの班に会員がついて水生昆虫を中心に採取しました。事前に栗田先生がビオトープ周辺で昆虫が生息している場所を調査しており、たくさんの種類の昆虫を採取することができました。



最近の傾向ですが、男の子よりも女の子の方の反応がいいような気がします。最初はこわい、触れないと言っていた子でも、気が付けばびしょびしょになりながら先頭を切って夢中になっていました(笑)。

